

技術活用しコストダウン 鉄筋継手研究会第2回例会



鉄筋継手研究会(事務)局:(株)アクティスは29日、福岡市博多区の福岡商工会議所において「鉄

筋継手研究会第2回例会」写真を開催した。

同研究会は、時代のニーズに伴い多種多様化する鉄筋継手の最新情報を建築構造物の設計・施工・管理に携わる人達と共有し、品質・施工管理等を含めた正しい鉄筋継手の理解を深め、更には最新の鉄筋継手技術を活用したトータルコストダウンを考える会として昨年設立された。

事務局の河村貴夫氏は、「(株)日本鉄筋継手協会は、鉄筋継手工事標準仕様書

の改定を実施し、管理範囲をガス圧接工事の1工種から溶接継手工事・機械式継手工事を含めた3工種へ広げた。これにより工法毎の品質・施工管理や継手の認定方法、認定組織等が複雑化している。例会が、仕様書改定のフォローアップ、鉄筋継手技術の知識・認識の向上に繋がれば」と挨拶。

講演では、「鉄筋溶接継手工事 品質・施工管理のポイント」を清水建設(株)生産技術本部の角陸

純一氏、「工業化工法への取組と鉄筋継手の実例」を前田建設工業(株)九州支店の塚本修史氏、「建築工事原価低減の基本②」をハタコンサルタント(株)の降旗達生氏がそれぞれ講演した。

同会では、12月に第3回例会の開催も予定している。問合せは事務局(株)アクティス 大野城市仲畑4-2-38、電話092-1501-15963番、又はホームページ<http://actis.biz/jp/>